

令和 5 年 8 月 9 日

令和 4 年度 宮城県医療的ケア児等相談支援センター「ちるふぁ」実績報告

基本情報

名称：宮城県医療的ケア児等相談支援センター「ちるふぁ」

住所：仙台市泉区南中山 3 丁目 19-12

職員：センター長	遠山 裕湖（理学療法士・保育士・幼稚園教諭）	} 専従常勤
	太田 勇樹（社会福祉士・主任相談支援専門員）	
	三浦 真白（看護師・保健師）	
	加藤英理子（総合事務・相談支援専門員）	専従非常勤

嘱託医 田中総一郎（あおぞら診療所ほっこり仙台 院長）

教育アドバイザー 菅井裕行（国立大学法人 宮城教育大学大学院 教授）

※専従常勤職員は全員相談支援専門員及び医療的ケア児等コーディネーター資格を有する

(1) 総合的・専門的な相談支援（7月～3月）

ア) 当事者支援 380 件

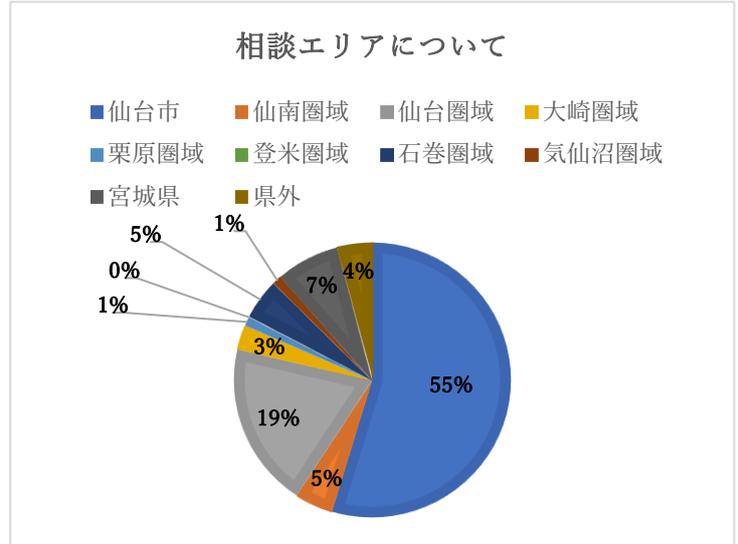
イ) 支援者支援 469 件

7～3月 合計 849 件

仙台市	473 件
仙南圏域	39 件
仙台圏域	168 件
大崎圏域	25 件
栗原圏域	9 件
登米圏域	1 件
石巻圏域	41 件
気仙沼圏域	10 件
宮城県	64 件
県外	35 件
全件数	865 件

※内 16 件は圏域を跨ぐ相談





- ・当事者からの相談は約 20%であり大半が支援者からの相談となっている。
- ・相談圏域としては、仙台市が最も多く 55%となっている。

(2) 情報の提供及び研修

ア) ホームページ及びメーリングリスト等を用いた情報提供回数

ホームページについて

- ・お知らせ 25 回
- ・医療的ケアの情報 9 回 (国通達関係・医療的ケア情報紹介リンク等)
- ・近況報告 ホームページに Facebook、Instagram を紐づけてタイムリーに活動情報を発信

7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	R5.1 月	2 月	3 月
15	12	5	10	11	12	8	9	5

投稿回数 7-3 月実績 合計 87 回

- ・ちるふぁ研修メーリングリスト 登録者 235 名

イ) 医療的ケア児支援者・コーディネーター養成研修の構成企画及び実施 (MS K 受託)

実施日：令和 4 年 12 月 2～3 日 (金、土) 17～18 日 (土、日)

申し込み者：合計 131 名 受講修了者合計 103 名

支援者研修修了者 74 名 コーディネーター修了者 29 名

ウ) 多職種合同研修

ほっこり×ちるふぁ研修 6回実施

実施日	研修内容	講師	参加者数
4月23日 (土)	わすれられない子どもたち	あおぞら診療所ほっこり仙台 院長 田中総一郎氏	280名
6月11日 (土)	経腸栄養コネクタ旧規格製品の使用 継続に関する通知について	社会福祉法人子羊学園 医師 浅野一恵氏	100名
7月9日 (土)	医療的ケア児支援法と宮城県医療的 ケア児支援センターについて	医療法人財団はるたか会 理事長 前田浩利氏 宮城県医療的ケア児等相談支援センター 遠山裕湖	160名
10月8日 (土)	医療的ケア児の呼吸支援	医療法人財団はるたか会 理学療法士 後藤晴美氏	58名
1月21日 (土)	小児在宅看護の魅力	(株)スペースなる 代表 梶原厚子氏	63名
3月11日 (土)	あなたの現場でのグリーフケアとは?	せんだいG&Aクリニック 院長 滑川明男氏	48名

※4月6月は、正式開所前であったため開設準備室として共催としている。

※時間帯は10:00～11:30で実施。

※上記研修についてはホームページ上でメーリングリスト登録者がパスワードにて閲覧可能にしているため、参加者の人数はオンタイム参加者のみの表記となっている。

延オンタイム参加者数 709名

エ) 県民に向けた理解啓発研修

実施日：令和4年11月6日(日) 10:00～12:00

場所：フォレスト仙台 第1フォレストホール

参加申し込み者：当日会場参加 38名 オンデマンド配信参加 115名

講演内容：「つながろう！医療的ケアがあっても安心して暮らせる社会を目指して」

講師：国立成育医療研究センター「もみじの家」ハウスマネージャー

世田谷区医療的ケア相談支援センター センター長 内多勝康氏

後援：仙台市

オ) その他研修(追加項目)

- | | |
|----------------------|--------------|
| ・保育所研修 4回 | ・児童発達支援研修 8回 |
| ・教育機関研修 5回 | ・福祉事業所研修 3回 |
| ・自立支援協議会及び行政機関研修 10回 | ・家族会 1回 |
| ・大学 1回 | ・医療 2回 |

(3) 関係機関等との連絡調整

ア) 基幹相談支援センター職員と定期的な連携を図り、地域状況のアセスメントを行う。

訪問及びディスカッションをした基幹相談支援センター

- ・気仙沼市 ・南三陸町 ・石巻市、女川町 ・大崎市 ・涌谷町 ・美里町 ・東部地域
- ・富谷市、黒川地域 ・亘理町 ・仙南地域 ・山元町（まだ基幹指定はない）

イ) 市町村自立支援協議会及び市町村医療的ケア児等支援の協議の場への参画

- ・仙台市医療的ケア児等地域支援連絡会及び作業部会 オブザーバー参加
- ・基幹相談支援センターへの訪問の際に協議の場への参画希望を伝える。
- ・自立支援協議会参加地域
 - ・仙台市（青葉区、泉区、若林区） ・栗原市 ・石巻市、女川町 ・東部地域
 - ・富谷市、黒川地域 ・名取市 ・仙南地域

ウ) 医療的ケア児に対する災害対策、平時の備え、発災時の情報共有・情報提供の実施を地域支援者と共に実施

- ・当事者家族からの災害時個別支援計画立案支援依頼について、地区保健師及び担当相談支援専門員と共に作成補助を実施
- ・宮城県立こども病院主催研修「医療的ケア児の災害時支援について」研修講師

(4) 医療的ケア児等支援に係る調査等

ア) 宮城県保健福祉部と共に県内の医療的ケア児の施策推進に係る検討会を開催し、実態把握のねらいと方策について検討を行う。

- ・宮城県保健福祉部精神保健推進室発達障害・療育支援班と上半期は月に1回程度下半期は2～3か月に1回打ち合わせを実施し、現況や課題の共有を行った。（9回実施）
- ・市町村行政単位で実数、実態調査を3月に実施 別添資料参照

イ) 医療的ケア児実数把握の為、医療関係者と意見交換を行う。

- ・宮城立こども病院（院長 副院長 看護部長 入退院支援センター師長 MSW）

(5) その他

ア) 指定特定・指定障害児相談支援の実施

- ・令和4年11月1日仙台市にて指定登録済み。在宅生活移行期など、地域の相談支援専門員が医療的ケア児支援に携わる経験が少ない場合や相談支援専門員がいない場合、有期限で計画相談の立案を行う。

イ) リスク管理

- ・医療的ケアや疾病に関する相談等、医療の専門性が高い相談がある場合は、嘱託医への確認を行い相談対応を行う、又は当該児主治医病院等との連携を行う。

ウ) 苦情解決

- ・苦情解決受付担当者：太田勇樹 三浦真白
- ・苦情解決責任者：遠山裕湖 福地慎治
- ・センター運営及び相談に対する苦情はなかった。

エ) 情報公開

- ・センター運営における質の向上を図るためのアンケート調査実施 別紙資料参照
アンケート方法
- ・当センターでご相談、ご利用いただいた方に相談等終結の際にアンケート調査にご協力を頂いている。(任意)
- ・アンケートは Google form にて回答いただく。(無記名)
令和5年5月29日政務調査にて実績報告と共に公表